

東部中学校区学校活性化協議会 第2回地域・PTA 部会 議事録（要点筆記）

日時：令和6年10月29日（火） 19:00～20:30

場所：東部中学校 会議室

出席者：

【委員】長谷川友子 神部智広 ◎小川祐治 丹羽菜穂美 中川和洋 中川直樹 山路紀子
野林恵利子 松本なつき ○佐藤順晋 松本祐輔 和田文剛
伊達隆 菊森実成 川口みほろ（学校長代理） 尾崎佳広 橋本恵美子 中西知子

（◎部会長 ○副部会長）

【教育委員会】教育委員会 学校活性化推進室長 北畠和幸
教育総務課 学校活性化推進室主幹 清水尚美
教育総務課 学校活性化推進室主任 地主博一

【市議会】奥出かよ子 西口真理 山本芳敬

1. あいさつ

部会長

本日は、統合校毎に分かれての協議にもなる。

よろしくお願いいたします。

公開について

部会長

本日の協議会は、「公開」で進める。

（異議なし）

2. 協議事項

（1）統合校への通学について

説明：事務局 資料『第1回地域・PTA 部会を受けての資料』

- ・資料訂正「8:30 始業を想定」→「8:20 始業を想定」
- ・東黒部小学校ルート：全児童が東黒部小学校に集合することを想定
- ・西黒部小学校ルート：ピストンを想定、松名瀬町の出発場所は決めていない
- ・機殿小学校ルート：魚見橋を経由するルートは難しい（①道が狭い②朝見小学校への進入が難しい）
- ・漕代小学校ルート：ピストンを想定（先発・次発は決めていない）

部会長

統合校毎に分かれて協議をする前に、何かあればお願いしたい。

委員

川島町は農道にポールが立っているので、それ以上バスが進入することはできない。また、その手前にある集会所では、バスが転回する広さはなく、2回は切り返さないといけない。安全面から考えてもこのルートはあまり望ましくないなので、後ほど別の案を提案したい。

先日の住民自治協議会役員会で報告したところ、出席者から「バスが2台3台になってもよいから、魚見橋を通った方が早い。」という意見があった。というのは、スクールバスに乗る子どもたちの中には、家を出る時刻が20分ぐらい早くなる子どももいる。保護者からも「10分以上早くなるのは困る。」という意見があった。

また、乗車時・降車時の児童の確認方法や急に欠席となった際の連絡方法、教員同乗の有無など、「対応をしっかり考えておいてほしい。」という意見があった。

事務局

朝の出発時刻については、現在の出発時刻も考慮しながら検討していますが、今まで通りという訳にはいかないと思います。できる限り配慮させていただきます。

委員

現在の掃水小学校と朝見小学校の始業時刻は8:20だが、8:30にさせていただくことができれば、もう少し出発時刻を遅らせることができるのではないかと。ぜひ検討していただきたい。

部会長

スクールバスで通学する以上、今までと同じ出発時刻というのは、地域によっては限りなく不可能だと思う。

保護者や地域の方々にしっかり説明していく中で、理解してもらえない。

事務局

児童の確認方法や欠席時の連絡方法などについて、専用のアプリを導入している自治体もあります。また、運転士にメールが届くシステムを構築するなどの方法もあります。いずれにしても、保護者の負担を少しでも軽減できるような対応が必要であると思いますので、今後検討していきます。

統合校の始業時刻を遅らせることについては、「何分遅らせることが可能か。」「終業時刻を変えずに始業時刻だけを遅らせることは可能か。」など、様々な可能性が考えられると思います。また、保護者の方々の意向もあると思います。学校運営上の話ですので、今後学校長と検討していきます。

国道23号は朝の時間帯は津方面への交通量が多いので、スクールバスの出発時刻を少し遅らせることで、子どもたちの乗車時間が減るのではないかと思います。その点も含めて、検討させていただきます。

(統合校A・Bに分かれて協議)

統合校 A グループ

部会長

スクールバスを3台も4台も出せたら良いが、運転士不足の問題などもありバス会社としても厳しい現状があるので、制限される部分はどうしても出てきてしまう。事務局からは各校1台、西黒部小学校についてはピストンする案が示された。

それぞれの地域から「これならできる。」という案を示していただけると良い。

【東黒部小学校ルートについて】

委員

PTA 役員会で確認をさせていただいた。

運行ルート・停留所について、問題ないとのことであった。仮に機殿小学校の児童が同乗する形になっても構わないとのことであった。その場合には、面識がない状況なので、連絡先などを確認しておきたいという意見があった。

【機殿小学校ルートについて】

委員

保護者の方々は、(朝の)家を出る時刻を気にされている方が多かった。家を出る時刻を考慮した運行ルート・時間設定をお願いされていた。今の時刻にできるだけ近づける形で考えていただけると良い。

委員

保護者は仕事の時間にも関わってくる。

西黒部小学校の子どもたちは、逆に家を出る時刻が遅くなる児童もいると思う。

部会長

今のライフスタイルが当たり前になっているので、それが変わることを理解してもらえるかどうか。西黒部小学校は今より20分ぐらい遅く家を出ても間に合う児童もいると思う。

委員

7:50に機殿小学校に着こうと思うと、東久保町の子どもたちは今よりも10分以上早く家を出ないといけなくなる。そこで、代案をお示ししたい。

東久保町の保護者の方からお電話をいただいた。その方が、「徒歩で機殿小学校まで行かずに、どこかでバスに乗せてほしい。」と言われたので、私から「きつする黒部」で乗せる案をお伝えしたところ、「側道をものすごいスピードで走っていく車がいって危ない。」ということ言われた。そこで、4日間現地での調査を行ったところ、交通量は多くないが、直線を一切止まらずに時速50km～60kmの速さで走っていく実態があった。

そこで、「きつする黒部」を集合場所にする場合には、横断歩道を設置してほしい。また、「ここは通学路なので子どもが通ります。」という看板を設置してほしい。毎日車を見ていると、ほとんど同じ車が通っていったので、1ヶ月前や半年前から周知していけば、運転手も気を付けるようになると思う。

「きっする黒部」は安全な待機場所もあるし、トイレもあるし、バスもバックせずに転回することができるので良いと思う。

大垣内町の近くを2日間見てきた。ここも、制限速度時速40kmのところを、時速50km～70kmぐらいで走っていった。行きは横断歩道はいらないが、帰りは反対側に降りるので横断歩道が欲しくなる。もし大垣内町で拾っていくのであれば時間の節約にはなる。[REDACTED]さんの倉庫の横が若干空いているので、「お借りしてもいいですか。」と聞いたら、「使ってもらってよい。」とっていただいた。ただ、保護者が「大垣内町のここは危ないので、集合場所を変えた。」とっていた。

カネヒチタクシーの駐車場については、交通量は少ないがバスが入ってこないといけない。また、タクシーを奥の方に停めるなどしてスペースを空けてもらわないと、バスが転回できない。

個人的には「きっする黒部」か「大垣内町」で拾っていくのが良いと思う。ただ、事務局とバス会社で現地確認をしてもらった上で決定したいと思う。

部会長

運行ルートが決まってきたら、バス会社と調整してもらうことになる。

「きっする黒部」は良いと思うが、トラックが側道から堤防へ向かって走っていくので、安全面を考えないといけないと思う。

委員

毎日2、3台のトラックが通っていった。

部会長

河川などの工事が入ってくるとトラックの交通量が変わってくる。また、「きっする黒部」が待機場になっているのか、トラックが10台ぐらい停まっていることもある。

委員

「きっする黒部」は広い。治安はどうか。

部会長

朝でも10台ぐらいの車が停まっている。7時ぐらいだと、2、3台ぐらいかと。

委員

「きっする黒部」へ物を運ぶ地元の人もあるので、人の目はある。

部会長

火曜日だけは「きっする黒部」の定休日。

【西黒部小学校ルートについて】

委員

以前から「西黒部小学校はピストンになるかも。」という話があったので、保護者が集まった機会に意見を聞いてみたところ、「2台で拾ってもらえる方が有難いが、ピストンでも仕方がない。」というこ

とであった。また、仕事の都合などから「自分たちばかりが早く出るのは嫌だ。」という意見もあったので、「前期と後期で交代してはどうか。」という話もしていた。ただ、ルートの交代も難しいのであれば、説明をして理解していただくしかない。

東久保町が「きっする黒部」になるのであれば、松名瀬町の子どもたちも「きっする黒部」にするのが無難だと思う。西黒部小学校の保護者としては、停留所になる所にトイレがあることが重要であると思う。さらに、一次避難所であればなお安心である。「きっする黒部」は、トイレもあるし、人の目もある。高須公民館は、備蓄もあるし、トイレもある。

期間は分からないが、始めの頃は地域の方に見守りボランティアをお願いしていきたいと思う。高須公民館は早くから開いていないので、できるのであれば子どもが集まる時間に見守っていただけると安心する。スクールバスの運行ルートや停留所が決まってきたら、ボランティアを募っていこうと考えている。

あとは、松名瀬町の子どもたちを拾っていく場所をどこにするかだけだと思う。

部会長

松名瀬公民館は大型バスの転回が難しい。「きっする黒部」にするのであれば、堤防の道を通学路に指定するのは危険すぎるので、堤防下の田んぼ道を歩いていくことになる。

ピストンする場合、順番を変えて先に西黒部町の子どもたちを送っていくと、統合校に着くのがとても早くなってしまう。ピストンするのであれば、松名瀬町・高須町の子どもたちを送ってから、西黒部町の子供たちを送るパターンしかないと思う。

あとは、「きっする黒部」までの道をどうするか。これまでとは全然違う通学路になる。旧県道の下をくぐって田んぼ道を歩くことになる。照明はない。畑をしている人がいるので目はある。

委員

東黒部は小学校に全員が集まることにある。雨の中をずっと待っていないといけないのは可哀そう。雨風を凌ぐ場所を造ってもらうか、現在の校舎を開けてもらうかのどちらかをしてもらえると有難い。学校にはトイレもある。

部会長

それは、他の学校でも一緒のこと。それであれば、着いた子どもからバスに乗っていく形になると思う。

委員

保護者からもトイレ問題が出ている。「トイレが付いているバスをお願いします。」という意見もある。

また、雨などを凌ぐための屋根などを設置することが難しいのであれば、バスが待機し始める時刻が分かれば、それに合わせて送っていくこともできる。「バスが何時から待機していて、何時に出発するのかをはっきりしておいてほしい。」という意見があった。

委員

保護者からは、バスの位置が分かるものを導入してほしいという意見があった。さらに、交通系 IC のように子どもが乗り降りの際にピッとすることで、保護者にその情報が伝わるアプリなども導入していただけると、台風などの際にも安心できる。

委員

私学も含めて全国の事例を調べていただいたら、そのような事例があると思う。

確認だが、ここで議論していることはあくまでも叩き台で、ここで作り上げたものを地域・PTA 部会からの要望として上げることになるのか。

部会長

まずは運行ルートを決めないと、バス会社との調整にすごく時間がかかると思う。

委員

松名瀬町と東久保町の子どもたちを乗せていくために「きつする黒部」から 1 台、機殿小学校から 1 台、東黒部小学校から 1 台、高須町と西黒部小学校から 1 台の合計 4 台を確保してもらえば、スムーズなのではないか。それを地域からの要望として挙げてはどうか。

委員

「きつする黒部」にバスが来ることになっても、東黒部小学校は「きつする黒部」でなくてもよいのか。

委員

距離的なことを考えると、東黒部小学校の方が近い。

委員

松名瀬町と東久保町の子どもたちだけなら、もう少しバスに乗ることができる。東久保町の近くの地域の子どもたちを乗せることもできる。

学校長

つまり、バスが 4 台必要ということですね。

委員

そうなれば機殿小学校から出るバスがどこにも寄らないので、出発時刻を遅らすことができるようになる。

委員

どうしても 3 台ということであれば、「きつする黒部」発のバスが西黒部小学校をピストンすることもできる。西黒部小学校から朝見小学校までは、信号で止まらなければ 3 分で行ける。

事務局

4日間実際に走ってみた結果は、6分、4分、3分、3分でした。信号次第ではありますが、平均4分でした。

委員

一番早く統合校に到着したバスが西黒部小学校へ迎えに行くようにしたら、3台でもいいける。

委員

松名瀬町・東久保町を「きっする黒部」で拾って、高須町を高須公民館で拾って、統合校で降ろす。その後、西黒部小学校へピストンするのはどうか。

委員

松名瀬町と高須町で32人、東久保町で8人、合わせて40人。西黒部町はもっと少ないので、そんなに大きなバスは必要ない。

いずれにしても、それらを含めて事務局で考えてもらえば良いのではないか。

委員

教育委員会はお金に糸目を付けない。

委員

地域からの要望がないと予算をつけられない。

委員

私たちはいくらでも竹上市長の所へ行く。

事務局

市長部局からは「スクールバスを導入すること、待機場を確保することはこちらの役目である。」との言葉をいただいています。とは言え、台数はできる限り少なくしていく必要があります。

委員

朝見小学校の子どもたちの中にも学校まで遠い子どもがいるが、「私たちもバスに乗りたい。」という意見はないのか。

学校長

確かに40分ほど歩いている児童もいる。ただ、スクールバスの対象となる区域は、学校再編により通学路が変更となる学校の校区を原則とする方向性が決まったので、ご理解いただくしかないと考えています。

学校長

スクールバスで送迎するのは、距離が長いからということではなく、通学路の変更による安全確保の

観点からであるということを整理するべきかと思います。

部会長

協議をまとめると、統合校Aとしては「校区を超えた形で子どもたちを拾っていくこと」「バスの台数を増やしてピストンを無くすこと」を提案させてもらうことでよかったか。

委員

それが通るのであれば、「きっする黒部」で松名瀬町と東久保町の子どもたちを拾っていく案で願いたい。地域住民や保護者からの「危ない。」とのご意見に対しては、警察や安全協会などで横断歩道を設置するなどしていただきたい。

部会長

スクールバスの運行ルートが決まってきたら、安全確保のための様々な要望がたくさん出てくると思う。まずは、運行ルートを決めていかないと、前に進んでいかない。

学校長

東久保町の保護者の方から『きっする黒部』までの道が危ないので、送ることになるかもしれないが、毎日は難しい。」との意見をいただきました。「きっする黒部」までの通学路については、安全対策を十分していただく必要があると感じています。

委員

通学路に指定された道路には、優先的に横断歩道や標識などが整備されるのか。

事務局

優先順位は上がると思います。時期にもよりますが、早く決めていくことが大切です。

委員

地域の方なのか、交通指導員の方なのかは分からないが、危険な所や横断歩道では、毎日大人の方が立っていただいている。

委員

コミュニティ・スクール（学校運営協議会）やまちづくり協議会（住民自治協議会）もあるので、地域の方々に見守りボランティアを募っていくべきだと思う。1ヶ月に3日しか活動できない人だとしても、その方が5人いればたくさんの日数になる。教育委員会に頑張ってもらうだけでなく、自分たちの地域の事なので自分たちで頑張らないといけない。

西黒部には見守っていただく方がたくさんみえるので有難い。

部会長

交通指導員だけではとても大変。西黒部では、各地域から安全協会の方を2人ずつ出してもらっている。18人ぐらいになるので、年間で1人当たり3、4回しか回ってこない。だから、負担が少ない。

やり方については、いくらでも考えられると思う。

委員

こちらから提案する運行ルートをバス会社と確認してもらえるのか。

事務局

はい。

委員

安全な所は地域でしか分からない。

委員

自分たちは代表として出てきているが、地域住民や保護者は様々な意見を持つてみえると思う。だから、「ここを停留所にする。」「こういう安全確保をする。」「地域の方に立っていただく。」ということを説明した上で、意見を聞いてみる必要がある。そういう時間は欲しい。提案された運行ルートに反対している人もいるので、説得できることは説得していきたい。

地域・PTA 部会だけで決めていくことには疑問がある。

部会長

これから地域に持ち帰っていただいて、様々な意見が出てくると思う。皆で子どもたちを見守っていかないといけないので、よろしくお願いいたします。

統合校Bグループ

委員

事務局からの叩き台に対してご意見があれば出していただければと思う。

掃水小学校で一番遠い山添町は通学距離が2km超えになり、学校に遅れないようにとのことで最近集合時刻を早くした。真夏は1年生が大変な思いをして歩いてくる。山添町のボランティアの方に「早馬瀬町はバスがあるのに、山添町はバスがない。」と言われたが、「バスは櫛田川を越える為の渡し船なんですよ。」という説明をさせていただいたところ、「ああ、そうなの。」という言い方で少しトーンダウンしていただいた。夏の暑い時期の大変さを自分自身も見ているので分かるが、山添町にバスを通してしまうと「朝見小学校の和屋町とか遠い所はどうなるんだ。」ということになるので、「櫛田川を越える為の渡し船としてのバスです。」という説明をさせていただいている。

委員

（漕代小学校の）PTA 常任委員会に2回出させていただいた。2日後に次のPTA 常任委員会があるので、その前にPTA 会長さんと話をした。そこで、「話ができる範囲で話をしてもらって、何か意見があれば学校か私へ個々に意見をください。」とお伝えさせていただいた。本日PTA 会長に確認したところ、具体的な他の提案はなかったということなので、ある程度は理解が得られているものと思っている。

懸念されるのが、統合後に早馬瀬町の子どもたちが「お前らはええなあ。」ということと言われたりしないかということ。

どこまでが公平で、どこからが不公平なのか分からないが、個人的には「バスを出してもらえただけありがたい。」と思っている。漕代小学校の保護者から何か意見が出てくることがあれば、「法田町から漕代小学校まで歩く距離よりも、山添町から掃水小学校まで歩く距離の方が遠い。」ということを説明しないといけないと思っている。

委員

法田町から漕代小学校まではどれくらいの距離があるのか。

学校長（漕代小学校）

2km くらいです。

委員

高木町から漕代小学校までは遠いが、漕代地区市民センターになると近くなるので、法田町が一番遠くなると思う。保護者から何か意見が出てくるかもしれないが、「山添町は遠いがバスが出ない。」ということを説明していく。

委員

山添町は少しでも雨が降れば車で送っている。それは保護者間で申し合わせて協力されているのだと思う。バスになると、そのような融通は利かなくなるところもあると思う。

学校長

法田町や高木町も雨が降ると送りになります。漕代小学校や漕代地区市民センターまで送ってもらって、そこからバスに乗ることになるのだと思います。

法田町の保護者から「法田町の公園までお迎えに来てくれるんやろ。」との意見がありましたが、「櫛田橋が危ないので、バスは渡し船の役割である。」ということを押さえていけば、漕代小学校の保護者には説明がつくと思います。

委員

横地町辺りの子どもたちの様子はどうか。

委員

漕代小学校までは 500m くらいなので特にはないと思うが、「バスが漕代小学校のどこに入るのか。」「雨の日は傘をさして待っているのか。」「屋根やガレージが設置されるのか。」ということはあると思う。傘をさして待っていて傘をたたんでバスに乗るよりも、屋根があった方がスムーズに乗れると思う。それは、掃水小学校側も同じこと。

添乗する人はいないということだが、やはり添乗する人がいる方が安心する。アプリの時代なのだが、欠席連絡や車で送迎する際の連絡は必要になると思う。

委員

近い漕代小学校の子どもたちがバスに乗って、遠い掃水小学校の子どもたちが歩いていくのはどうなのかと思っていたが、各町から漕代小学校や漕代地区市民センターへ行くのに2kmくらいあると聞いたので、それなら掃水小学校の子どもたちが歩くのも仕方がないと思う。

委員

例えば、櫛田橋にガードパイプのようなものを設置するなどして、児童が安全に渡れるように配慮してもらったらどうなのかなと思った。そうなれば、「早馬瀬町の子どもたちを歩かせる。」「法田町や高木町をバスで回って、橋の手前で降ろして歩かせる。」など、全く別の選択肢が生まれてくるのではないかなと思った。道幅は十分だと思う。

強い風が吹くことがあり、傘をさしている子どもが飛ばされて道に飛び出すことは十分に考えられるが、ガードパイプを付けてもらうなどして安全が確認できて、例えば早馬瀬町の子どもたちが歩くことになれば不公平感は解消されるのかなと思う。

委員

自分自身も中学生の時は自転車で通っていた。櫛田橋は良いが、手前の交差点の交通量がすごく多く危ない。漕代小学校の学校運営協議会委員の方が、中学生が車にひかれるところを実際に見たと言っていた。交差点を中学生が自転車で、小学生が歩いて渡る時に安全が確保できればと思う。歩行者だけが渡る信号（歩車分離式）にすれば安全は確保できると思う。

委員

登校の時間帯は中学生と一緒になので、自転車と歩きとが混在してしまう。

委員

道の両側に歩道がついているので、どちらかを自転車、どちらかを歩行者にしたら良いが、そうすると「その前の交差点を何とかしてほしい。」という要望が市に行くことになると思う。

事務局

県道になりますので、市としては「そのような要望があるということを県に言うことはできる。」ということしか申し上げられません。

学校長

歩車分離式の信号が決して歩行者にとって安全という訳ではありません。松阪駅前の交差点が歩車分離式になっていますが、反対側が赤になると自分の方が青だと思って飛び出してくる車があるので、歩いている高校生や中学生がひかれそうになるのを何度か見たことがあります。歩車分離式も田舎では怖いと思います。

委員

櫛田橋手前の交差点は危ない。堤防の上流側から来る車の左折が優先なのに、下流側から松阪市街へ右折しようとする車がそれを待たずにどんどん来る。短い信号なので、「我先に。」という感じで危険な

場所になっている。

委員

そうすると、橋にガードパイプを付ければ解決するという訳でもないということになる。

委員

櫛田橋の歩道は幅も広いので大丈夫だと思う。交差点の方が危険だと思う。

委員

解消するのは簡単ではない。

委員

斎宮側からのショートカットとして旧参宮街道を使ってみえる方がおり、結構危ないと思う。バスであればその点は解決されるので、非常に有難い。

ただ、山添町のことを知っているので、公平な目で見ると申し訳ないという思いもある。「どこでどう区切るのが良いのか。」と思うが、どこで区切っても様々な意見が出てくるのだと思う。

委員

清水町や菅生町も遠い。

委員

清水町は田んぼのど真ん中を歩いてくるので、冬の風が強い日は寒い。

委員

遮るものがないので風が非常に強い。自転車の中学生在風にあおられてよく田んぼにはまっている。

事務局

先ほどの櫛田橋のガードパイプの話ですが、県の管轄ですので、市の建設部を通して県へ確認したところ、「小学生の通学路になるのであれば、優先順位が上がる。」という話も聞きました。また、議員からも要望を出していただいているようです。

委員

橋そのものよりも、手前の交差点が危ないということ。

委員

いっそトンネルを掘って、川沿いへ上がることができないものか。

委員

アンダーパスのような感じか。

委員

お墓の方にはトンネルがあるので、堤防の下もトンネルを掘って上がれるようにすれば安全だと思う。

委員

櫛田橋の上流側をずっと歩いて行って、掃水小学校前の歩道橋を渡るという方法もあるが。

委員

トンネルを掘る場合、2年では無理だと思う。

バスでということなら、漕代小学校側としては賛成は言えない。ただ、早馬瀬町の旧農協跡地をバスの乗降場所とする案であれば、通勤ラッシュでバスが出るのが難しいのではないかなと思う。

委員

交通量が多いので、きちんと止まってくれるのかどうか。

委員

交通指導員のような旗を持っている人がいるが、旗持ちの人は車の誘導はしないように言われている。バスが出る際に旗を出したら止まってくれるのか。

委員

「横断歩道を描いてほしい。」と要望したが、近くに横断歩道があるので描けないということであった。また、送迎の車の出入りがあると考えたら、狭いのではないかなと思う。それなら「たばね庵」近くの更地に集合させた方が道は広いのではないかなと思う。

委員

そこは旧ドライブインの場所。良いかもしれない。ただ、確保できるかどうか。

委員

正直、バスに乗るもの楽ではないという印象。何人乗る、何人乗らないなどを常に気にしないといけないので、徒歩の方が気が楽なのではないかとも思う。

掃水小学校側の乗降場所はどこになるか。

学校長

まだ分からないと聞いています。

委員

50人になると観光バスサイズになる。

委員

観光バスなら掃水小学校には入ってこれないと思う。修学旅行の時には、JAに停めている。

学校長

漕代小学校も 50 人乗りは入らないです。30 人乗りの小さいバスなら小学校の運動場に入っていますが、それ以上になると JA の出荷場跡を借りています。だから小さいバスを考えていました。

事務局

漕代小学校側もどこなら入れるのか検討しているところです。

学校長

門を壊さないと入れないです。幼稚園側からは絶対入れないので、体育館横の所しかないです。

委員

消防団車庫の横から入ったらどうか。

学校長

槇の木を切れば可能かもしれませんが、忠魂碑があります。体育館ギリギリの所を抜いてもらって整備してもらうのも良いかもしれませんが、イチヨウの木は切らないといけません。

委員

漕代小学校前の道は細い。それよりも、伊勢場町が通っている通学路（農道）の方が広いので、わざわざ漕代小学校へ入らなくても、その辺りの道を通ったらどうか。

事務局

朝見小学校と掃水小学校の乗降場所については市で整備します。それ以外の停留所については、市が用地の買収をしたり整備したりする予定はありません。

ただし、「学校用地に入るために、この木、このフェンスがなければ入れる。」といった場合は、市の予算で整備させていただきます。

委員

運動場に入れば安全面でも一番良い。

学校長

運動場側の門を削るしかないのではないのでしょうか。そこは花壇なので大丈夫だと思います。

委員

正門を削って道を広げてしまったら良いのではないか。

事務局

早馬瀬町の交差点から来たバスが正門の方へ曲がることはできますか。

学校長

いつもはちょっと過ぎてからバックして入っています。大きなバスでは入らないということであれば、門を削ってしまえば入ると思います。東側から来たら頭から入れます。

事務局

漕代小学校を通り過ぎて、どこかでＵターンして頭から入るということですね。

委員

バスには運転士しか乗車しないということなので、大変だと思う。

忠魂碑を移設したり木やフェンスを削ったりして入口を広げた方が良いのではないか。または、体育館との間を抜いてしまう。

学校長

または、学校からもう少し行った横地町の JA 出荷場跡で、Ｕターンをさせていただくということは可能かもしれません。JA にお願いしたら、朝や夕方なら大丈夫だと思います。

委員

そうすれば５分はかかってくるので、学校到着が８時 20 分くらいになってしまうことがあるかもしれない。

忠魂碑を移設するなどして入口を広げるのが、一番バスには優しいのではないか。

学校長

帰りのバスはピストンになるのでしょうか。ピストンであれば 15 分程度の時間差が生じますが、結局は全員教室から出てきて待つことになります。全員なら 50 人、3 時のバスと 4 時のバスなら 25 人ずつになるかもしれませんが、例え 20 人でも待っている場所がないです。だから、本当は一度に帰したいです。

下駄箱から公民館へ向かうところにちょっとした広場があるので、そこへしっかりしたテントを張っていただければ、雨の日もそこで待つことができます。子どもが待機できる場所をお願いしたいです。

事務局

人数も想定しながら検討させていただきます。

委員

協議をまとめさせていただく。

いくつかキーワードが出てきた。掃水小学校側としては、「早馬瀬町は近いのに。」という不公平感を解消すること。漕代小学校側としては、櫛田橋手前の交差点の怖さがあるのでバスが最善だということ。橋にガードパイプがあったとしても、それでは問題解決にはならないということ。

課題は乗降場所である。掃水小学校側については、教育委員会が用地の買収も含めて対応してくれるが、漕代小学校側はフェンスを削ったり忠魂碑を移設したりして、かなりの改造が必要になる。停留所については、焼肉「山小屋」の跡地の案が出た。

委員

例えば6年生だけ帰りが遅くなることなどもあると思うが、それもバスは対応していただけるのか。

事務局

詳細については、今後学校も含めてバス会社と協議していくことになります。

学校長

焼肉「山小屋」の跡地はどなたの土地ですか。

委員

今は自動販売機だけが並んでいる。ただ、そこを停留所にする、雨避けなどもない。誰の土地かも分からないし、「荒れているので整地してください。」とも言えない。

委員

雨の日は、停留所までかなりの保護者が車で送ってくると思う。そこからバスに乗ることになる。

委員

停留所まで送ってくるなら掃水小学校まで送っていくかもしれない。

(全体での協議)

部会長(統合校Aグループの報告)

叩き台から大きく変更となった部分は、西黒部小学校をピストンせずに、高須町と西黒部町でバスを1台、松名瀬町と東久保町、もしくは川島町を「きっする黒部」で拾っていくバスを1台確保する。東黒部小学校は提案されて運行ルートでバスを1台確保する。機殿小学校はあちこち回らずに行く運行ルートでバスを1台確保する。結果的にバスが1台増える(合計4台)形になってしまうが、これがベストではないかということになった。

あとは、松名瀬町から「きっする黒部」までの通学路、東久保町・川島町から「きっする黒部」までの通学路の安全確保をどのようにしていくか。バスの運行ルートが決まれば、地域住民や保護者で何度か回ってみるなど、たくさんの意見を集約しながら安全対策に繋げていきたい。

委員(統合校Bグループの報告)

早馬瀬町がバスなのに山添町が徒歩ということで、どうしても不公平感が生まれてしまうが、スクールバスが「櫛田川を越えるための渡し船である。」という説明をさせていただいたところ、山添町の方から「なるほど。」というお言葉はいただいた。

ただ、櫛田橋を渡るよりも、橋の手前(漕代小学校側)の方が危険であるという話を聞かせてもらった。旧参宮街道・県道鳥羽松阪線・堤防道路などが交差する橋の手前では、朝の時間帯は行き交う車で混雑するので、その中を子どもたちが歩いていくことはかなり危険ということであった。「土手の

下に穴を掘って抜けられるようにしてはどうか。」という意見もあったが、大変な工事になるので、現実的にはスクールバスしかない。

ここで問題となるのは、山添町、菅生町、清水町、みどり苑などの掃水小学校まで遠い地区の方々にどのように納得してもらうのかということ。そこは、「渡し船」ということでご理解いただくしかないのかと思っている。

（赤ルートについて）漕代小学校のバスの乗降場所をどこにするのか。漕代小学校の運動場で転回できれば良いが、大きなバスになるようなので、忠魂碑の移設や木の伐採、壁の撤去などの改造が必要になるかもしれない。

（青ルートについて）漕代地区市民センター前の旧農協跡地をバスの乗降場所にする案については、旧参宮街道が抜け道になっており車がたくさん通るので、いっそのこと焼肉「山小屋」の跡地などの広い土地を確保してはどうか。

掃水小学校の乗降場所については、教育委員会から「用意をする。」と聞いてはいるが、まだどこになるかは決まっていない。朝は周辺道路が混雑しており、雨の日は保護者の送り迎えもあって大混乱すると思うので、安全な乗降場所を確保してほしい。

櫛田橋にガードパイプを付けることについては、通学路になれば要望が通りやすくなるそう。先日櫛田橋を歩いた際に、横風があり怖いと感じた。ただ、橋の手前に問題があるということなので、ガードパイプが付いたところで根本的な解決にはならない。

事務局

（統合校Aについて）

バスの台数が1台増えることについては、しっかり検討をさせていただきます。また、「きつする黒部」までの通学路の安全確保が重要になってくると思うので、こちらも検討させていただきます。

事務局からお示しさせていただいた案と、皆様からご提案いただいた案をベースに、バス会社と確認をさせていただきます。

（統合校Bについて）

櫛田川の堤防にトンネルを掘る案がありましたが、難しいと思います。

スクールバスの乗降場所が確定できずにいることで、ご心配をおかけしています。現在、調整しているところです。

漕代小学校については、忠魂碑を移設したり木を伐根したりするなどして、バスが入ることができる場所を確保させていただくことになろうかと思います。これは、西黒部小学校についても同様のことになろうかと思います。

掃水小学校から遠い地区の方々については、お話があれば事務局からご説明をさせていただいて、ご理解を求める形になると思います。

3. その他

報告：事務局

- ・統合校の校名応募用紙について
 - ・『学校活性化協議会だより 第1号』について
- （意見なし）

連絡：事務局

- ・第2回地域・PTA部会を、11月下旬から12月上旬に開催する予定。(バス会社と現地を確認した上で、日程調整を行う。調整次第では、開催時期が変更となる可能性がある。)
- (意見なし)

※令和6年10月31日をもって、山路委員が退任